



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場会社名 三重交通グループホールディングス株式会社 上場取引所 名
 コード番号 3232 URL <http://holdings.sanco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岡本 直之
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループ 経理担当部長 (氏名) 北村 亨 (TEL) 059-213-0351
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	50,913	23.2	2,483	128.9	2,279	152.3	1,332	124.6
25年3月期第2四半期	41,317	△11.1	1,084	△37.6	903	△36.3	593	△22.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 679百万円(290.8%) 25年3月期第2四半期 173百万円(△73.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	14.93	—
25年3月期第2四半期	6.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	144,492	27,421	18.1
25年3月期	147,220	27,110	17.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 26,189百万円 25年3月期 25,883百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 26年3月期(予想)の期末配当金には、当社の上場会社としての前身である三重交通(株)が26年2月に創立70周年を迎えることから、記念配当1円を含んでおります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	9.7	4,300	31.5	3,700	34.8	2,500	22.5	27.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期2Q	107,301,583株	25年3月期	107,301,583株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	17,854,843株	25年3月期	18,125,092株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期2Q	89,247,567株	25年3月期2Q	88,023,647株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)6ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業的前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	13
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下「当第2四半期」という。）におけるわが国経済は、アベノミクスへの期待感から、景気の先行きは明るさを取り戻し、力強さを増してまいりました。加えて、2020年東京オリンピック開催決定は、社会インフラ整備の推進や、企業の設備投資拡大、さらには個人の消費にも力強さを与えるものと期待されます。

また、本年10月に行われた神宮式年遷宮により伊勢志摩地域への来訪者は過去最高となり、地域に与える経済効果は大きなものとなっております。

このような状況の中、当社グループは、地元企業集団として、全国から来訪されるお客様のおもてなしに努めるとともに、基本理念である「お客様の豊かな暮らしと地域社会の発展に貢献」を実践することが企業価値の向上に繋がるとの考えに基づき、重点分野の事業拡大による成長戦略の推進、収益性の向上、有利子負債の削減、ガバナンス（内部統制）の強化に努めました。

この結果、当第2四半期の業績は、営業収益は50,913百万円（前年同期比9,595百万円、23.2%増）となり、営業利益は2,483百万円（同1,398百万円、128.9%増）、経常利益は2,279百万円（同1,376百万円、152.3%増）、四半期純利益は1,332百万円（同739百万円、124.6%増）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

なお、前第3四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(運輸セグメント)

乗合バス部門では、神宮式年遷宮を迎えた伊勢志摩地域への来訪者が増加し、営業収益は増加しました。貸切バス部門では、保有車両を削減したことにより営業収益は減少しましたが、稼働率は上昇しました。タクシー部門では、北勢地域での需要は減少しましたが、伊勢志摩地域での観光需要は増加しました。

この結果、運輸セグメントの営業収益は13,181百万円（前年同期比219百万円、1.7%増）となり、営業利益は854百万円（同127百万円、17.6%増）となりました。

業種別営業成績

区分	売上高（営業収益）（百万円）	前年同期比（%）
一般乗合旅客自動車運送事業	6,103	4.1
一般貸切旅客自動車運送事業	3,942	△2.9
一般乗用旅客自動車運送事業	926	5.4
貨物自動車運送事業	86	△2.8
自動車整備事業	185	4.6
旅客運送受託事業	1,802	4.7
その他	1,178	2.2
小計	14,225	2.0
内部取引の消去	△1,044	6.2
合計	13,181	1.7

(注) 一般旅客自動車運送事業における営業成績は下記のとおりであります。

区分	単位	一般乗合 旅客自動車 運送事業	前年同期比 (%)	一般貸切 旅客自動車 運送事業	前年同期比 (%)	一般乗用 旅客自動車 運送事業	前年同期比 (%)
営業日数	日	183	0.0	183	0.0	183	0.0
期末在籍車両数	両	806	△0.7	376	△2.6	306	△7.8
営業キロ	km	7,384	1.4	—	—	—	—
実働走行キロ	千km	18,653	0.1	12,660	△5.4	2,169	3.9
旅客人員	千人	24,295	2.9	1,565	△0.9	819	2.7
旅客運送収入	百万円	5,963	4.2	3,557	△2.7	918	5.3
運送雑収	百万円	140	0.1	385	△5.0	8	17.9

(不動産セグメント)

分譲部門では、消費税の税率変更を控えマンション分譲と戸建分譲が共に好調となり、売上高は増加しました。仲介部門では、取扱件数の減少により売上高は減少しました。賃貸部門では、前期11月完成の複合商業施設「豊田ラッツ」(愛知県豊田市)の収益が寄与しましたが、当期4月に実施したビジネスホテル事業の分割により、売上高は減少しました。建築部門では、消費税の税率変更を控え新築工事の受注が持ち直しつつあるほか、リフォーム分野で大幅に売上高が増加しました。また、新規事業となる環境エネルギー部門では、当期4月から稼働した「伊勢二見メガソーラー光の街」第1発電所に続き、8月に同第2発電所、9月には「紀北町海山ソーラー発電所」が稼働を開始しました。

この結果、不動産セグメントの売上高は15,281百万円(前年同期比3,216百万円、26.7%増)となり、営業利益は1,286百万円(同909百万円、241.2%増)となりました。

業種別営業成績

区分	売上高(営業収益)(百万円)	前年同期比(%)
分譲事業	8,314	72.8
仲介事業	525	△10.3
賃貸事業	3,681	△13.6
建築事業	2,126	12.1
環境エネルギー事業	109	—
その他	706	2.0
小計	15,465	26.2
内部取引の消去	△183	△1.2
合計	15,281	26.7

(注) 1 分譲事業及び建築事業の売上高は、その計上時期が第4四半期連結会計期間に偏る傾向があり、第2四半期連結会計期間の計上額が相対的に少なくなるという季節的要因があります。

2 分譲事業における営業成績は下記のとおりであります。

区分	土地 (ロット)	前年同期比 (%)	建物 (戸)	前年同期比 (%)	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
戸建分譲	83	6.4	45	4.7	1,699	3.3
マンション分譲	—	—	384	64.8	6,526	175.6
土地売却他	—	—	—	—	88	△89.0

3 建築事業における受注状況は下記のとおりであります。

区分	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
建築事業	4,431	36.1	6,451	20.3

(流通セグメント)

石油製品販売部門では、ガソリンスタンドの新規2店舗の営業開始や法人等への外販部門の積極的営業により販売量は増加しました。また、整備事業効率化のため伊勢整備工場を閉鎖し事業の再構築に努めました。生活用品販売部門では、集客イベントを強化し、話題作りや情報発信に努めましたが、ヘルス・ビューティー商品など定番商材の販売が苦戦しました。自動車販売部門では、大型トラックの新車需要が好調に推移しました。

この結果、流通セグメントの売上高は、自動車販売部門が加わったこともあり19,697百万円（前年同期比5,731百万円、41.0%増）となり、営業利益は77百万円（同45百万円、145.8%増）となりました。

業種別営業成績

区分	売上高（営業収益）（百万円）	前年同期比（%）
石油製品販売業	8,512	9.7
生活用品販売業	6,140	△1.0
自動車販売業	5,058	—
小計	19,711	41.1
内部取引の消去	△14	—
合計	19,697	41.0

(レジャー・サービスセグメント)

旅行部門では、会員募集の集客が順調に推移しました。旅館部門では、神宮式年遷宮を迎えた伊勢志摩地域への来訪者が増加したことから宿泊人員は増加しました。また、当期4月より不動産セグメントから分割され加わったビジネスホテル部門では、ビジネス客に加えレジャー需要も取り込めたことから高稼働となりました。ドライブイン部門では、遷宮効果によりバス立ち寄り台数が大幅に増加しました。索道部門では、従来からの登山ブームに加え、積極的な宣伝活動や周辺施設との相乗効果もあり乗車人員が増加しました。

この結果、レジャー・サービスセグメントの営業収益は、ビジネスホテル部門が加わったこともあり5,600百万円（前年同期比1,367百万円、32.3%増）となり、営業利益は268百万円（前年同期営業損失82百万円）となりました。

業種別営業成績

区分	売上高（営業収益）（百万円）	前年同期比（%）
旅行業	641	12.3
旅館業	1,758	17.6
ビジネスホテル業	812	—
ドライブイン業	1,377	13.9
索道業	368	24.6
ゴルフ場	230	△10.8
自動車教習所	411	2.0
小計	5,601	32.3
内部取引の消去	△1	△32.4
合計	5,600	32.3

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末(平成25年9月30日現在)(以下「当第2四半期末」という。)における財政状態は、総資産は販売用不動産の減少により144,492百万円(前連結会計年度末(以下「前期末」という。)比2,728百万円減)となりました。また、負債は支払手形・買掛金の減少により117,071百万円(前期末比3,039百万円減)となりました。純資産は利益剰余金の増加等により27,421百万円(前期末比311百万円増)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少等により、2,846百万円の収入(前年同期比2,623百万円収入増)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得等により、2,724百万円の支出(前年同期比260百万円支出減)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済等により、879百万円の支出(前年同期比2,927百万円支出増)となり、この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は3,110百万円(前期末比591百万円減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月2日に公表した連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

(平成26年3月期連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	112,000	3,800	3,000	2,100	23.55
今回修正予想(B)	115,000	4,300	3,700	2,500	27.95
増減額(B-A)	3,000	500	700	400	-
増減率(%)	2.7	13.2	23.3	19.0	-
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	104,812	3,270	2,743	2,040	23.17

当第2四半期の業績が当初予想を上回り、また引き続き神宮式年遷宮による伊勢志摩地域への経済効果などが見込まれることから、売上高は115,000百万円、営業利益は4,300百万円、経常利益は3,700百万円、当期純利益は2,500百万円となる見通しであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,729,933	3,121,881
受取手形及び売掛金	6,201,459	6,715,470
商品及び製品	1,885,329	2,288,543
販売用不動産	31,616,292	29,134,410
仕掛品	260,622	700,273
原材料及び貯蔵品	218,533	233,315
その他	4,958,932	2,829,465
貸倒引当金	△58,620	△72,166
流動資産合計	48,812,482	44,951,194
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,540,442	29,791,095
土地	45,368,618	46,735,642
その他(純額)	4,834,982	6,479,314
有形固定資産合計	80,744,042	83,006,053
無形固定資産		
その他	459,869	429,880
無形固定資産合計	459,869	429,880
投資その他の資産		
その他	17,345,552	16,233,049
貸倒引当金	△141,276	△127,605
投資その他の資産合計	17,204,276	16,105,444
固定資産合計	98,408,187	99,541,378
資産合計	147,220,670	144,492,572
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,441,077	4,232,026
短期借入金	21,937,000	29,652,000
1年内返済予定の長期借入金	18,873,281	13,682,230
未払法人税等	541,913	723,870
引当金	1,482,325	1,588,859
その他	10,316,047	11,234,639
流動負債合計	60,591,644	61,113,624
固定負債		
長期借入金	34,815,478	31,809,390
退職給付引当金	2,804,016	2,900,252
引当金	240,309	240,229
資産除去債務	246,236	248,554
長期預り保証金	15,255,269	14,917,929
その他	6,157,581	5,841,254
固定負債合計	59,518,891	55,957,608
負債合計	120,110,535	117,071,233

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	8,426,826	8,442,192
利益剰余金	10,338,506	11,253,502
自己株式	△2,352,582	△2,297,809
株主資本合計	19,412,750	20,397,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,683,813	4,023,210
繰延ヘッジ損益	68,514	62,217
土地再評価差額金	1,718,913	1,706,445
その他の包括利益累計額合計	6,471,241	5,791,873
少数株主持分	1,226,143	1,231,578
純資産合計	27,110,135	27,421,338
負債純資産合計	147,220,670	144,492,572

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業収益	41,317,967	50,913,203
営業費用		
運輸業等営業費及び売上原価	31,352,700	39,232,697
販売費及び一般管理費	8,880,480	9,197,350
営業費用合計	40,233,180	48,430,047
営業利益	1,084,787	2,483,156
営業外収益		
受取配当金	143,804	141,955
その他	240,767	111,921
営業外収益合計	384,571	253,876
営業外費用		
支払利息	540,406	423,735
その他	25,270	33,406
営業外費用合計	565,677	457,142
経常利益	903,681	2,279,891
特別利益		
固定資産売却益	7,544	6,317
その他	14,323	5,831
特別利益合計	21,867	12,148
特別損失		
減損損失	10,295	173,825
その他	182,354	78,156
特別損失合計	192,649	251,981
税金等調整前四半期純利益	732,899	2,040,058
法人税等	131,185	693,765
少数株主損益調整前四半期純利益	601,714	1,346,293
少数株主利益	8,245	13,450
四半期純利益	593,468	1,332,843

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	601,714	1,346,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△362,585	△660,603
繰延ヘッジ損益	△63,376	△6,296
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,920	—
その他の包括利益合計	△427,882	△666,900
四半期包括利益	173,831	679,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165,585	668,161
少数株主に係る四半期包括利益	8,245	11,231

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	732,899	2,040,058
減価償却費	2,093,566	2,181,569
減損損失	10,295	173,825
投資有価証券評価損益(△は益)	100,853	40,362
退職給付引当金の増減額(△は減少)	145,098	96,235
受取利息及び受取配当金	△147,353	△145,422
支払利息	540,406	423,735
売上債権の増減額(△は増加)	3,281,676	2,372,171
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,987,462	458,000
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,711,670	△3,183,833
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△78,541	△1,125,288
その他	104,356	△220,725
小計	1,084,126	3,110,688
利息及び配当金の受取額	146,218	144,236
利息の支払額	△491,374	△427,713
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△516,729	19,015
営業活動によるキャッシュ・フロー	222,240	2,846,227
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,800	△6,600
定期預金の払戻による収入	23,000	23,000
固定資産の取得による支出	△2,515,791	△2,453,914
固定資産の売却による収入	10,913	11,675
投資有価証券の取得による支出	△339,187	△4,809
投資有価証券の売却による収入	5,706	—
投融資による支出	△144,689	△44,295
投融資の回収による収入	25,791	97,120
預り保証金の受入による収入	276,180	58,755
預り保証金の返還による支出	△321,763	△366,649
その他	2,075	△38,850
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,985,565	△2,724,567
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	7,580,000	7,715,000
長期借入れによる収入	9,200,000	4,050,000
長期借入金の返済による支出	△14,343,314	△12,247,139
自己株式の売却による収入	—	70,858
自己株式の取得による支出	△690	△719
配当金の支払額	△355,522	△439,070
少数株主への配当金の支払額	△7,428	△5,796
その他	△24,735	△22,793
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,048,309	△879,659
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△715,015	△757,998
現金及び現金同等物の期首残高	3,279,810	3,702,418
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	166,346
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,564,794	3,110,765

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益計算 書計上額 (注)2
	運輸	不動産	流通	レジャー・ サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上 高	12,149,670	11,870,367	13,176,451	4,121,478	41,317,967	—	41,317,967
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	811,975	194,133	788,722	110,998	1,905,829	△1,905,829	—
計	12,961,646	12,064,500	13,965,174	4,232,477	43,223,797	△1,905,829	41,317,967
セグメント利益又 は損失(△)	726,604	377,052	31,389	△82,301	1,052,745	32,041	1,084,787

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額32,041千円には、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額他が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益計算 書計上額 (注)2
	運輸	不動産	流通	レジャー・ サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上 高	12,366,837	14,966,238	18,093,427	5,486,699	50,913,203	—	50,913,203
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	814,774	315,087	1,603,653	113,635	2,847,152	△2,847,152	—
計	13,181,612	15,281,326	19,697,081	5,600,335	53,760,355	△2,847,152	50,913,203
セグメント利益	854,422	1,286,637	77,162	268,594	2,486,817	△3,660	2,483,156

(注) 1 セグメント利益の調整額△3,660千円には、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額他が含まれておりま

す。2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来の石油製品販売セグメント及び生活用品販売セグメントについては、経営管理上採用している区分を見直し、前第3四半期連結会計期間から新たに連結の範囲に含めた自動車販売業を合わせて統合を行い、流通セグメントとしております。これに伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき、作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「運輸」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては6,881千円であります。

「不動産」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては165,004千円であります。

「流通」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1,938千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。